

流木の有効活用を検討・実施

●具体的な整備内容

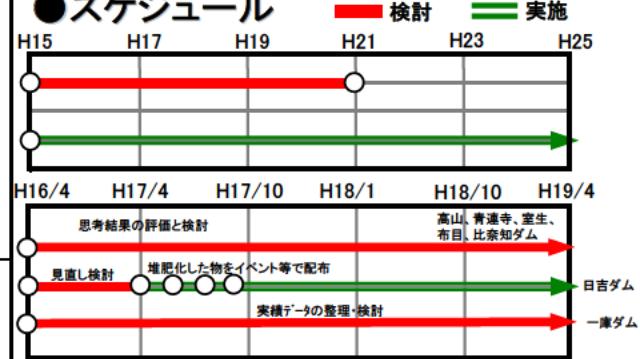
ダム湖に流入する流木の有効活用を図る。
(高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、日吉ダム、一庫ダム)

●事業の数量・諸元等

●事業費 高山ダムの事例

全体事業費 約3百万円／年

●スケジュール



●整備効果

高山ダムでは、平成13年度から平成15年度までダム湖で発生した流木及び布目ダムの浚渫土砂を法面植生基盤材として有効活用している。

●提案理由(代替案含む)

1. 現況と提案理由

既設各ダムでは、毎年大量のゴミや流木等の塵埃が流れ込み、その処理が管理上の問題となっている。

また、リサイクルについては、流木等の塵埃の有効活用を図るための取り組みを実施していく。

2. 具体的整備手法

減量化の検討……生活ゴミ等の原因を調査し、上流市町村との協力により不法投棄、生活ゴミ減量化に向けた啓発活動等を検討し、実施していく。

流木の有効活用を検討・実施

●委員会等からの意見

ダム湖に流入する流木の有効活用をはかることは概ね適切であり、早急に実施する必要がある。

流木の有効活用については、下記の事項を配慮して、検討・実施する必要がある。

- ・流木の発生源である上流森林の保全および風倒木の処理
- ・さまざまな流木の活用(薪・木炭・オガ粉・チップ・鑑賞置物など)の比較検討
- ・ダム下流の生物の生息・生育場所の形成などに対する流木の役割

●進捗状況

・堆肥化を試行的に実施(比奈知ダム)

・炭化、堆肥化等の実証実験を実施予定(一庫ダム)

・チップ化を実施しており、引き続き実施するとともに、イベント時等に一般の方へ配布予定(日吉ダム)

●進捗状況

状況写真(ない場合はイメージ図あるいは図面)



流木を破碎後、堆肥化



試行的に堆肥を配布

流木を破碎後、堆肥として再利用(比奈知ダム)

●今後の見通し

・日吉ダムについては、チップ化を引き続き実施するとともに、イベント時等に一般の方へ配布予定。

・一庫ダムについては、炭化、堆肥化等の実証実験を行う予定。

・高山・青蓮寺・室生・布目・比奈知ダムについては、ダム湖について、各種の試行的な取組を含め、流木の有効活用を実施予定